

高知医療センター広報誌

こころ なび

第23号
2014年6月発行



「ホヤカクレエビ属の一種」

高知医療センター理念及び基本方針

理 念

医療の主人公は患者さん

基本方針

1. 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します
2. 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します
3. 自治体病院としての使命を果たします
4. 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします
5. 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

CONTENTS

診療科紹介

「消化器外科・一般外科」 ————— 3

栄養局

「5階ほかからフロアの栄養管理」 ————— 5

研修医のページ

「あたらしいこと・おもいだすこと」 ————— 6

薬剤局

「年々増え続けている糖尿病、
もしかしてあなたも？」 ————— 8

医療技術局

「血液型と輸血の話」 ————— 10

ナースのポケット

「こころの健康とは」 ————— 12

外来診察予定表 ————— 13

私の趣味

「浮気性…？」 ————— 17

院内行事・行事予定 ————— 20

.....

高知医療センター理念及び基本方針 ————— 2

「がん相談窓口」のご案内 ————— 7

受診相談・退院後相談のご案内 ————— 9

表紙写真について ————— 9

セカンドオピニオン相談外来のご案内 ————— 11

宝箱～患者さんの声と回答のご紹介～ ————— 16

高知・高知医療センター共催「がんセミナー」 ————— 19



消化器外科・一般外科

消化器外科・一般外科 科長 志摩 泰生

消化器外科・一般外科では、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆道（胆嚢・胆管）、膵臓、脾臓などの消化器の疾患や、腹壁ヘルニア、鼠径ヘルニアなどの疾患に対して手術を中心とした治療を行っています。また、予定手術だけではなく、救命救急科と協力しながら、消化管穿孔、汎発性腹膜炎、腹部外傷等の緊急手術も数多く行っています。

平成24年の消化器外科・一般外科領域の手術件数は、予定手術、緊急手術を合わせて1,123件で、県内で最も症例数の多い施設です。（表1）

消化器疾患の手術の多くは、食道、胃、大腸等の消化管のがんと、肝臓がん、胆管がん、膵がん等の肝胆膵領域のがんで占められていますが、胆石症、虫垂炎、炎症性腸疾患などの良性疾患の手術も行っています。

そして、最近では従来のお腹を大きく切る開腹手術から、お腹に小さな穴をあけ、内視鏡を使用して低侵襲で行う腹腔鏡下手術がさまざまな疾患に適応されています。

また、がんの場合、手術法ばかりでなく放射線療法、抗がん剤療法などを含めて、関連する他科（消化器内科、放射線科など）と最適な治療法を検討しています。

入院患者は70名前後で、現在は、兼任を含め17名のスタッフで担当しています。スタッフは消化器外科関連の各種学会の専門医などを多数有しており、また、外科専門医制度修練施設をはじめ、各種学会の修練施設にも指定されています。

診療の実際

《食道がん》

食道がんにおいては、ある程度進行したがんでは、手術療法、放射線療法、化学療法を組み合わせ、それぞれの特徴を生かした集学的治療が行われます。また、手術療法は、開胸・開腹を要するため、患者さんにとって侵襲の大きな手術となりますので、当科では、侵襲の少ない胸腔鏡下食道切除術も一部導入しています。

《胃がん、大腸がん》

我が国の2010年の罹患数統計では、胃がんは第1位、大腸がんは第2位であり、地域の医療機関の先生方からも数多くの患者さんを紹介していただき、当科の手術数も両者で年間400例を超えています。

胃がんでは、従来の開腹術に加えて、早期胃が

表1

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
食道疾患	37	29	13	31	21 (2)	19	20	19
胃十二指腸疾患	200 (10)	195 (30)	138 (33)	149 (34)	164 (25)	168 (46)	176 (49)	198 (56)
大腸疾患	195 (63)	171 (97)	165 (71)	242 (117)	219 (134)	254 (128)	257 (98)	251 (120)
肝胆膵疾患	251 (113)	240 (102)	263 (104)	263 (89)	264 (76)	278 (100)	286 (100)	399 (136)
その他	241	161	344	390	377	267	273	256
合計	924	889	923	1075	1045	986	1012	1123

んを中心に、腹腔鏡下手術を積極的に行っています。また、最近では、消化管吻合もすべて腹腔鏡下に行う完全腹腔鏡下手術も導入し、患者さんの負担軽減に努力しています。

大腸がんでは、進行がんを含め、さらに多くの症例が腹腔鏡下手術で行われています。また、肛門に近い直腸がんにおいては、可能なかぎり肛門機能温存を目指しての腹腔鏡下手術も行っています。そして、人工肛門を造設された患者さんのフォローアップには、皮膚・排泄ケア認定看護師も携わっています。

《肝臓がん、胆管がん、膵臓がん》

当科の肝胆膵疾患の手術症例数は、中国四国地区では、屈指であり、たとえば、代表的な高難度手術である膵頭十二指腸切除術は昨年 61 例行われています。肝胆膵疾患の手術では、一般的に難易度が高い手術が多く、当科では日本肝胆膵外科学会の高度技能指導医の資格を持つ外科医が、難易度の高い手術が安全に行われるように努力しています。また、最近では小型で切除が容易な部位の腫瘍に対する肝切除術にも腹腔鏡下手術を導入して、より侵襲の少ない手術も目指しています。

《その他》

緊急手術は、救命救急科と連携して 24 時間対応をしており、交通外傷による腹部外傷、消化管穿孔、汎発性腹膜炎等の手術を行っています。

また、最近では緊急手術や鼠径ヘルニアに対しても、積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。

以上、代表的な疾患について述べましたが、いずれの疾患においても患者さん個人個人の病態とニーズに合わせて低侵襲手術から拡大手術まで幅広い治療法を選択し、ベストなものを選択するように努めています。また、頻度の高い手術にはクリニカルパスという標準的な治療計画表を用い、患者さんが治療の過程を理解し易く、安全で合理的な医療を提供できるよう工夫しています（現在、胆石症、鼠径ヘルニア、胃がん、大腸がん等に適応）。これにより入院期間も必要最小限に留めることができます。

最後に

今回は、消化器外科・一般外科の紹介をさせていただきましたが、外科医療は、チーム医療です。そのためにも、個々の力量を最大限に高めるとともに、ひとつの目標に向かって協力し合い、力が発揮できるような成熟したチームを作り上げるように、努力していきたいと考えています。

また、後期研修医など若手医師の育成にも特に力を注いでいます。社会から信頼される外科医となるためには、しっかりとした指導体制のもと多くの症例を経験することが必要です。

当科では、救命救急科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科へのローテーションも行えて、幅広い症例を経験できる体制を作っています。

これからも、県民の皆様には質の高い最高の医療を施すことが出来るように、スタッフ全員が、日々真摯に診療にあたっていきたいと考えています。今後ともよろしくお祈りします。



外科手術のようす

5階ほがらかフロアの栄養管理

管理栄養士 坂本 一美

私は、消化器外科、移植外科、泌尿器科、婦人科、乳腺・甲状腺外科の病棟、ほがらかフロアを担当しています。

その中でも入院件数が最も多いのは消化器外科で、その目的のほとんどが手術、抗がん剤治療、放射線治療です。消化器は食べ物の通り道で、胃は消化、腸は吸収、肝臓は代謝を担っており、管理栄養士は手術後の栄養管理に大きく関わっています。手術後の食事はほとんど流動食から始まりますが、重湯というお粥の上澄みの主食とすまし汁など液体の副食です。手術後、食事が始まる時、管理栄養士は栄養指導を行います。久しぶりの食事を待ちかねて、すまし汁を一気に飲み干したいと言う方もいますが、消化器に負担をかけないために、噛むようにして唾液とよく混ぜて食べることで、20～30分くらい時間をかけてゆっくり食べることなどを説明します。そして日ごとに3分粥、5分粥、全粥とお粥の米粒の量が増えていき、それに伴って副食にも固形物が増えていきます。退院する頃には米飯食に変わり、退院前の栄養指導では自宅に帰ってからもしくは消化のよいものを食べることで、脂肪の多い食品は少量から始めることなどを説明します。健康な時ほど、食事中によく噛むことやゆっくり食べることは気にしないものです。栄養指導としてはとても簡単なことに思いますが、しっかり守って頂かないと腹痛や嘔吐などの消化器症状が現れるのでとても大切なことなのです。

移植外科では腎移植をされた患者さんに栄養指導を行います。免疫抑制剤の影響で免疫力が低下するので感染予防のために、退院後3ヶ月くらいは生ものや調理後2時間以上経過したものなどを食べないように指導します。基本的に外食も禁止とし、食材が新鮮かどうか自分の目で確かめたものを食べるようにアドバイスします。食生活全体に注意をしなければいけないため「食事のことが一番心配だ。でき

るかな？」などと言われる方もいますが、入院中に何度かお話をし、少しでも不安を減して退院して頂くように心がけています。



どの診療科にも共通しているのが、抗がん剤治療や放射線治療をしている方の食事対応です。当院では治療の副作用でほとんど食事が食べられなくなった方を対象に「ぼっちり食」「リード食」という院内特別食を提供しています。この食種はがん治療を受けられた患者さんを対象にしたアンケート結果から作成しており、生活の質を維持し、治療を完遂するための食事摂取支援食です。ぼっちり食の中から自分の副作用症状に合わせて好きなメニューを選ぶことができます。量も全量、1/2量、1/4量と選ぶことができ、今ではがん治療の患者さんに満足頂ける食種になっています。一方で長期にわたってぼっちり食ばかり選ぶのには注意が必要です。元々の栄養量の設定を1000kcal程度と低くしているため、自分の嗜好で自由に選んでいると栄養状態が悪化する恐れがあるからです。病状をよくみて、時には患者さんとコミュニケーションをとりながら、治療が終わって食欲が出てきた際には十分なエネルギーが確保できる食事に戻すことが大切です。

ほがらかフロアは入退院が激しく、短期間で栄養管理を必要とする患者さんも多いので、管理栄養士として仕事にとってもやりがいを感じるフロアです。医師や看護師、薬剤師と連携して適宜患者さんの情報を共有しながら日々業務を進めています。

「あたらしいこと・おもいだすこと」

研修医 和田 義敬

はじめまして。高知医療センター研修医1年目の和田義敬です。

高知医療センターに所属し、2ヶ月。医者としても2ヶ月。そもそも、社会人として2ヶ月。まだ高知に住み始めて2ヶ月です。ようやくビルがない生活に慣れてきました。

海が綺麗、山が綺麗、ここにいると眼が良くなりそうと毎日ワクワクしてます。

初めての一人暮らしが高知県なのです。私は東京で生まれ東京で25年間育ちました。

「なんで高知に？」と高知に来てからずっとずっと聞かれて「いやいや、大したことはなくて！実は…」と話しても皆一様にむむ？と訝しみます。それで決まってこう聞きます。「高知は何もないでしょう？」いやいや、そんなことないです。都会にあるものは大体ありますよ！と答えるともう決定的です。

あ、この子は変わってるんだな。と思われ、「彼には特別な理由があるに違いない。」と噂まで立つ始末。今回はこのような場で弁明出来て大変ありがたく思います。

医師になることが徐々に現実味を帯びてきた時に、私は不意に東京を離れてみたくなりました。別に東京が嫌になったわけではないのです。好きな人やものばかりです。ただ、どこかに飛び出して



みたかったんです。その時は、自分なりにになにか変化が欲しかったんだと思います。変化がないと成長できないとも考えたのかもしれませんが。東京を目指す人がいるみたいに、逆に日本のどこかを目指す人がいてもいいのでは？と思いますが、なかなかそんな人はいないみたいですね。いろんなことに理由をつけてもそれだけでは物足りなくて、自分の思慮の奥向こうのことばかり気になります。それでも考えたことはなかなか複雑なようで結び方の忘れた靴紐のようにそこにあります。書きながら思い出しても、なかなかはっきりとしたものは姿を見せません。でも、確かにそのようなことを漠然と考えながら日本のどこか、自分が小さい頃から訪れた祖父母の家がある、ここ高知県の高知医療センターを選びました。

東京を離れる時、品川から新幹線に乗る時、期待半分恐怖半分、岡山で降り南風に揺られながら瀬戸内海に浮かび、数えきれないほどのトンネルをくぐり、車内の暗さに慣れるほどに、率直に言ってしまうと楽しみなんて空元気の外形に過ぎず、このままばかりと嫌なものぜんぶ飲み干してしまえば身体の中の奥の奥の誰もいないとこでぐんぐん育って古びた映画みたいにそこから得体の知れない物が飛び出るかもと、そんな事考えてました。いや、本当にちっと色々なこと考えました。そして、高知に降り立ったとき。空の底が抜けたような青空に行き交う人々の姿。ため息なんかより自然に吐き出した分だけ入る空気。そんな単純なものじゃなくて。酸素と窒素のバランスなんて化学的に分からずとも、言うなれば、ずっと染み入るものがありました。「ここで頑張ろう。」陳腐ですが、背筋を人知れず伸ばして街に溶け込んだあの瞬間のあの気持ちって凄く良いものでした。ほんとうに。

今はすっかり慣れて、土佐弁を恐る恐る使いながらなんとか元気にやっております。

雨が降りゆう。雨が降っちゆう。の違いは未だにさっぱりしてません。大学のほとんどの同級生は関東にいてなかなか会うこともありませんが、これほどまでに楽しくやっていると露ほども思っていないでしょう。高知に行く前にはやれ鯉を送ってくれだの、行ったら案内してくれだの、散々言っていた旧友人たちからはその後音沙汰はなく、なんて東京者は冷たいんだと旧東京者としては寂しくもありました。大丈夫です、元気です。

そう言えば、東京から一人四国に赴任したのには大先輩がいます

そう、「親譲りの無鉄砲で損ばかりしている」から始まる、夏目漱石の「坊っちゃん」です。一部抜粋してみますと「生まれてから東京以外に踏み出したのは、同級生と一緒に鎌倉へ遠足した時ばかりである。今度は鎌倉どころではない。大変な遠くへ行かねばならぬ。どうせ碌な所ではあるまい。」「早過ぎるなら、ゆっくり云ってやるが、おれは江戸っ子だから君等の言葉は使えない、分らなければ、分るまで待ってるがいいと答えてやった。」「おれは性来構わない性分だから、どんな事でも苦しめないで今日まで凌いで来たのだが、此

処へ来てからまだ一カ月立つか、立たないうちに、急に世のなかを物騒に思い出した。」……、参考にする人物を少し間違えた気もしますが、心情的には近いものはあります。「ここにも坊っちゃんがいるぞ。」となんとも思いました。どこに行っても変わらなければならないこともありながら毎日過ごしていく煩雑さとその趣きは一日ずつを重ねた向こうに残すものを予感させながらも大変恐ろしいことです。「坊っちゃん」は東京へ帰りました。彼も何か思って、変わったことがあるのでしょうか。読めば読むほど不思議になります。

まだまだ学ぶことばかりです。それ以外はほとんどなにもありません。空元気ばかりで過ごしていることもあります。でも、ここで過ごすことに意味がありますように。もっともっと根拠もないまま、でも自信だけは少し持ち出して、歩き出していきたいと思っています。

話ばかり長くなりましたが、精一杯頑張りますので、皆様よろしくお願ひします。

高知は素敵なおとこです。私はぜんぶが楽しみです。

「がん相談窓口」のご案内



高知医療センターでは、がんに関する一般的な情報提供、療養上の悩みや不安、医療費やその他のサービスの手続き、またセカンドオピニオン、緩和ケアなどがんに関するご相談を受けることができるよう、「がん相談窓口」を設置しています。

ご相談は無料です。当センターの患者さんやご家族の他、地域のみなさまどなたでもご利用できます。

相談時間 月～金曜日 9:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

相談方法 面談相談：まごころ窓口、相談室での相談
 電話相談：088-837-3863 (直通)
 F A X : 088-837-6766
 E-mail : gann_connsult@khsc.or.jp

※混み合っている場合には、お待ちいただくか、予約をして後日おいでいただくこととなりますので、ご了承ください。
※がん相談は治療方針を決定するところではありません。

「がん」に関するさまざまな悩みをご一緒に考えていきたいと思ひます。お気軽にご相談ください。



年々増え続けている糖尿病、 もしかしてあなたも？

薬剤局 田中 広大

(1) 糖尿病とはどんな病気？

“糖尿病”という言葉はよく耳にしますが、どんな病気かご存知ですか？実は、日本人の4～5人に1人が糖尿病を強く疑われる、もしくはその可能性があると言われていています。しかし、糖尿病は自覚症状がないことも多く、糖尿病を強く疑われる人の約3割が未治療であると指摘されています。糖尿病には、1型糖尿病や2型糖尿病、妊娠糖尿病などいくつかの型がありますが、ここでは食事などの生活習慣の関与が大きい2型糖尿病について紹介します。

糖尿病は、血糖値が高い状態（以下、高血糖）のことを言います。食べ物は消化液の働きによりブドウ糖に分解され、腸から血液に吸収されます。その血液中のブドウ糖のことを血糖と言います。血糖は、膵臓から出される“インスリン”により筋肉などの細胞に取り込まれ、栄養として使われます。

高血糖の主な原因は、①食べ過ぎ、②膵臓からのインスリン分泌の低下、③インスリンの効果の低下、ですが、これらは生活習慣が大きく関与しています。食生活が乱れ肥満になると、インスリンの効果を下げる物質が増えて高血糖になり、さらに膵臓からのインスリン分泌も低下してしまいます。

高血糖は自覚症状がないことも多いですが、徐々に血管を弱くするため、血管が豊富な眼や腎臓に合併症を引き起こし、視力低下や透析導入の原因となります。また、神経を障害し、手足のしびれなどの感覚の異常を引き起こします。さらには、免疫も低下させるため、足の小さな傷から壊死につながる場合がありますが、神経障害により痛みを感じることができず、気が付いた時には切断を余儀なくされることもあります。

(2) どんな治療法がある？

2型糖尿病の治療は、適正な運動、食生活、体重管理が基本です。それでも血糖値のコントロールがうまくいかない場合は、薬物療法になります。薬物療法には、飲み薬、インスリンやインスリン分泌を促すホルモンを注射する方法があります。

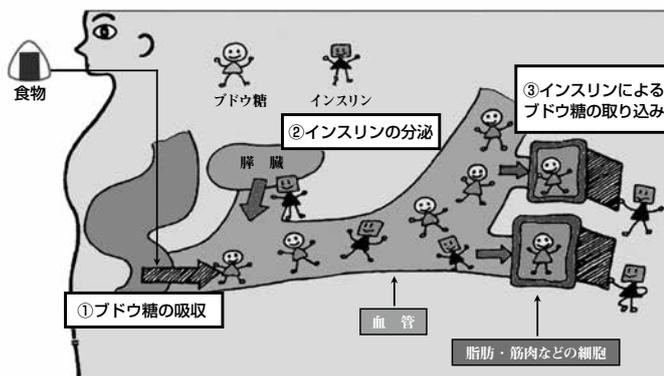
飲み薬は、(1)膵臓からインスリンを分泌させる薬剤、(2)インスリンの効果を高めて細胞への糖の取り込みを強くする薬剤、(3)食べ物の吸収を緩やかにする薬剤、(4)尿からブドウ糖を排泄させる薬剤があります。

これらの薬剤を使用していても、不適切な生活習慣を続けていると血糖コントロールが悪くなってきます。例えば、過食により高血糖になると、血糖値を下げようと膵臓がインスリンをたくさん分泌しようとします。しかし、その状態が長く続くと膵臓も疲れてしまい、ついにはインスリンを分泌できなくなってしまいます。膵臓に負担をかけず、インスリンの分泌を維持するためには、なによりも生活習慣の改善が重要です。

(3) 治療を続けていくために

糖尿病治療の目標は、適切な血糖値を維持し、合併症を予防することです。しかし、糖尿病は自覚症状が乏しいことから、時間が経つと、不適切な

〈ブドウ糖の流れとインスリンの働き〉



※①、②、③のどれかに不具合があると高血糖になる

生活習慣に戻ってしまったり、薬剤を自己判断で中止してしまったりすることがあります。

そこで、医師、看護師、管理栄養士そして薬剤師がチームとして関わり、患者さんがどのような問題を抱えているのかお聞きし、治療への意欲を持ち続けられるよう一緒に考えています。特に糖尿病薬による治療では、低血糖などの副作用の症

状や対応についても理解を深めていただき、自宅でも安心して薬物療法を受けられるよう薬剤師が支援させていただいています。当院では、病棟に薬剤師が常駐しており、糖尿病教室も定期的に行っています。何かお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

受診相談・退院後相談のご案内

当センターにて治療、療養中の患者さんやご家族の方、またこれから受診なさる方々が安心して治療に専念出来るよう、ソーシャルワーカーが様々な問題について、共に考え解決へ向けてのお手伝いをしています。

- 医療費等の経済的な問題
- 公費負担医療、福祉制度等の情報と利用について
(難病助成制度、身体障害者手帳、障害年金等)
- 療養上の不安、心配事等
- 介護保険に関すること
- 退院後の生活相談、福祉サービスの紹介
- 転院先の病院や福祉施設の紹介

※相談は無料
※相談内容についての
秘密は守ります

[場所] 1階 まごころ窓口

[時間] 午前8時30分～午後5時15分 当センターの休診日はお休み

[お問い合わせ] TEL 088-837-3000(代表)

表紙写真について



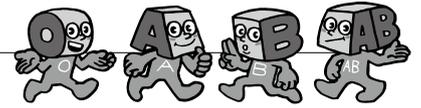
ホヤカクレエビ属の一種

撮影地 大月町柏島 水深：20メートル

フィリピンのセブ島と高知県大月町の海でしか確認されていないホヤの中に住む体長が1cmほどの小さなエビです。セブ島ではアオホヤに居ることが多いのですが、柏島ではミカンボヤという黄色いホヤに隠れています。ホヤカクレエビという名前は俗称で、正式な和名はまだ付いていません。海の中にはまだ私たちが知らないことがいっぱいです。

撮影・文 福田 昇司

(リハビリテーション科科长)



血液型と輸血の話

医療技術局 池島 千枝

「あなたの血液型は何型ですか？」

血液型占いの質問みたいですが・・・
まずは、ABO 型のお話から始めたいと思います。

「日本人で一番多い血液型を知っていますか？」

それは、A 型です。次は O 型、B 型、AB 型の順番でほぼ 4 : 3 : 2 : 1 の比率になっています。
ちなみに欧米人で一番多い血液型は O 型です。

「血液型とは、何でしょう？」

赤血球の膜表面にある抗原のことです。A / B 抗原はその代表的な抗原です。

赤血球の表面に A 抗原があると A 型、B 抗原があると B 型、A と B 両方の抗原があると AB 型、両方の抗原が無いと O 型です。

O 型は、発見された当初は C 型といわれていましたが A 抗原と B 抗原ももっていないゼロ (0) という意味から O 型と改名されました。

「A (+) A (-) と表現されている血液型をご存じですか？」

これは A 型 RhD (+)、A 型 RhD (-) のことです。O 型、B 型、AB 型にも存在し、RhD (-) は日本人の 0.5% です。欧米人は 15% 存在します。RhD 型は、ABO 式血液型の次に抗原性が強いため、血液型を調べる際、同時に検査されています。

血液型は、以上お話した ABO 式血液型とは別に Rh 式 C、D、E 型と MN 式、Lewis 式 (ルイス)、Diego (ディエゴ)、Bombay 型等、抗原の数 225 種あるといわれています。その中でも Bombay (ボンベイ) や -D- (バーDバー) 型は、サスペンスドラマや世界仰天ニュースなどで聞いたことがあるかもしれない稀な血液型です。

ちなみに、「同情するなら金をくれ」でおなじみの安達祐実演じる相沢すずも病弱な母親と同じ Bombay (ボンベイ) 型でした。母親は、すずの命を助けるための輸血がもとで亡くなってしまう悲しいストーリーでした。

「ここで血液についてお話ししましょう。」

血液は、血球成分と液体成分に分離されます。さらに、**血球成分**は、赤血球、白血球、血小板、**液体成分**は**血漿**に分類されます。

赤血球は、酸素と二酸化炭素の運搬、白血球は免疫機能、血小板は止血機能といった重要な役割があります。血漿には、抗体や凝固因子等が含まれています。

「抗体とは、何でしょう？」

抗体は、本来病原菌などが体に侵入した際に、それを破壊し異物から体を守るものです。

抗 A 抗体は A 抗原に、抗 B 抗体は B 抗原を異物として認識し同様に反応して血球を破壊してしまいます。A 型には抗 B 抗体、B 型には抗 A 抗体、O 型は抗 A 抗体と抗 B 抗体の両方を自然に血漿中にもっています。AB 型は両方の抗体がありません。その他の血液型に対する抗体は、輸血、妊娠、移植などにより産生されたり、自然にもっていたり規則性がないため**不規則抗体**とよばれています。

これらの抗体を有している患者さんに抗原陽性の血液が輸血されると、赤血球が破壊される**溶血性副作用**を引き起こす危険性が高くなります。これを予防するため、輸血前に不規則性抗体の有無をスクリーニングする必要があります。

実際輸血を行なう場合は、あらかじめ試験管内で患者さんの血漿と血液製剤の血球の反応を調べます。この検査のことを**交差適合試験**といいます。

「O型の方は、他の血液型の人に輸血できませんが、自分にはもらえない」

その昔、そんな話を聞いたことはありませんか？ O型の赤血球はAとBの抗原が無いので他の血液型の人には輸血できますが、自分の血漿中に**抗A抗体**と**抗B抗体**があるため他の血液型の人からの輸血はできません。

近年、献血による血液製剤安定供給により、O型を他の血液型の人に輸血することもなく同型の輸血が行われてきました。

昨今のドクターヘリなど救急体制の進歩はめざましいものがあります。重篤で緊急に輸血が必要な患者さんには、血液型が確定する前に、一時的にO型の赤血球の輸血を行う場合があります。もちろん検査ができれば直ちに同じ型の輸血に切り替えます。

米国TV番組の「ER」では、すぐにO型RhD(-)を輸血していますが、前述したように欧米人は、O型RhD(-)の頻度が高いため、うらやましいかぎりです。

「皆さんは、献血をしたことがありますか？」

献血には、全血献血(200ml、400ml)と成分献

血があります。

成分献血は、装置を使用して**血小板**など特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。

全血献血は、各成分の比重値の差を利用して赤血球と血漿に分離されます。赤血球は**赤血球濃厚液**に血漿は**新鮮凍結血漿**となります。

「自己血輸血ってどんな輸血なの？」

手術前の患者さんが事前に自分の血液を貯えておくものです。

高知医療センターでは、心臓外科、産婦人科、泌尿器科、整形外科を中心に週2回、医師、看護師、検査技師とともに血液管理室で採血、貯血を行なっています。

自己血の最大のメリットは安全性です。ただし自己血貯血は、限られた条件の患者さんにしか準備できません。緊急手術などほとんどの場合血液センターの血液製剤に頼らざるを得ません。

血液管理室では、安全で適正な輸血が行なわれるようこれらの輸血用の血液製剤の一元管理を行なっています。

セカンドオピニオン相談外来のご案内 ～全診療科がん相談～

セカンドオピニオンとは、当センター以外の医療機関で診察を受けている患者さんを対象に、自らの治療に対して最良の方法を選択するうえでの参考意見を得るために、診療内容や治療法に関して当センターの専門家の意見・判断を聞こうとするものです。

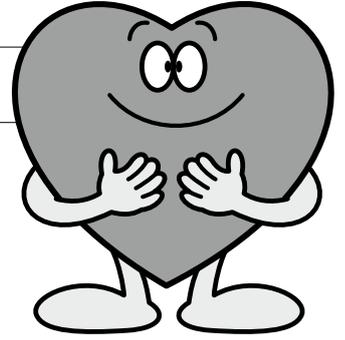
相談時間および料金

- 1 完全予約制です。
- 2 自由診療で行われます。保険証は使えませんのでご注意ください。
(ただし、ご本人の確認を行いますので、保険証はお持ちください)
- 3 予約は、お申込みをいただいたのちに、担当する医師と患者さんのご都合を調整したうえで、相談日を当センターからご連絡します。
- 4 ご相談を担当する医師は、各診療科がん相談担当医師です。
- 5 お問い合わせや予約には料金はかかりません。キャンセルも可能です。
- 6 ご紹介いただいた主治医の先生へのご報告の作成費を含め、費用は次のとおりです。

1時間まで	10,800円(消費税込み)
以降30分毎に	5,400円(消費税込み)
- 7 ご連絡先
高知医療センター・まごころ窓口セカンドオピニオン相談外来担当
(TEL)088-837-6777 (FAX)088-837-6778
予約受付時間：月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

こころの健康とは

精神看護専門看護師 福田 亜紀



みなさんは、こころの健康ときいて、どのようなことを思い浮かべますか？

悩みがないこと？ いつでも明るくはつらつとしていること？ こころが満たされてゆったりとリラックスできていること？ さて、いかがでしょうか？

自分や身近な人が、眠れない・・・、気分が落ち込む・・・、イライラしてたまらない・・・といった状況に陥った時、それは甘えでこころが弱いせいだ!! と思ったことはないでしょうか。自分でなんとかしなくては・・・、時間がたてば解決するはず・・・、人に話してもどうにもならないだろう・・・、など、自分ひとりで抱えてしまった経験をお持ちの方も多くいらっしゃると思います。

私たちは生きていく上で、進学や就職、引越、結婚、出産など、様々な出来事に遭遇します。それだけでも喜んだり悩んだり大変なのに、それに加えて、自分や身近な人のからだの病気や怪我に直面すると、不安になるし、落ち込んだり、怒りを感じたり、食べられなくなったり、眠れなくなったり、いろいろなことが決断できなくなったり、忘れっぽくなったり、と調子を崩すことがよくありますが、これは、こころの自然な反応です。ですが、その自然な反応が起こっている時に、からだの病気や怪我の回復が遅れたり、無理に不安や怒りを抑えて感じないようにしたり、前向きに頑張り過ぎたりしてしまうと、こころの健康を損ねてしまうことがあります。

こころの健康とは、様々な出来事に対して、喜んだり腹を立てたりと喜怒哀楽を感じながら日々を送ることができること、悩んだり困ったりして自分で解決が難しい時に周囲に助けを求めることができること、大変な出来事に遭遇した後に「あの時は大変だったね。でもなんとかかなるもんだね。」と時に笑って振り返ることができること、だと、私

は思っています。

実は、現代の日本では、からだの病気よりもこころの病気を患っている方の方が多いのです。加えて、からだの病気を患うと、こころの不調もでてくることは知られています。こころの不調や病気は、早い段階で治療やサポートを受けると軽減できることが明らかになっていますが、一方で、こころの病気を患っている人の多くが、早い段階では治療や支援を受けていないことも明らかになっています。ほんの少しの不調を1人で抱え続けて、こころの病気に至ってしまった・・・といった事態に陥らないために、早め早めに相談すること、日頃から相談先を見つけておくことをお勧めします。

そしてもう一つ。「ケアする人」も、ケアされなければなりません。私はこれまで、こころの病気を患った患者さんの回復をお手伝いしてきました。その中で、なかなか快方に向かわなかった患者さんでも、ご家族や支援者といった「ケアする人」にこころの余裕ができるだけで、患者さんが安定するといった変化を何度も経験しています。からだの病気や怪我を抱える人の苦痛を取り除き、制限ある療養生活の中で、楽しみや希望を見出してもらおうと日々努めている「ケアする人」は、自分自身が感じている以上に、こころのエネルギーを消費しています。「ケアする人」も、つらいのが当然、腹が立つのも当然、それを誰かに聞いて欲しいのも当然、愚痴をこぼしてもいいんです。ただし、こころの不調を抱えているご本人に言うのではなく、他に言える相手を探しましょうね。コツは、聞き上手な人に話すことです。ぜひ、実践してみてください。

外来診察予定表

平成26年6月1日～

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合診療科	午前	澤田 努	深田 順一	伊東 秀樹 石川 忠則	石川 忠則	澤田 努 石川 忠則
	午後	澤田 努 石川 忠則	上村 由樹		上村 由樹 石井 隆之 〈禁煙〉 医師交代※1	石川 忠則
緩和ケア内科	午前	原 一平	原 一平	原 一平	原 一平	原 一平
	午後					

※1 6月5日、6月19日

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
消化器内科	午前	森田 雅範 山田 高義 根来 裕二	大西 知子 森下 佐織	山田 高義 宇賀 公宣	森田 雅範 森下 佐織	大西 知子 宇賀 公宣
放射線療法科	午前	〈セカンドオピニオン相談〉 森田 荘二郎	森田 荘二郎	森田 荘二郎	森田 荘二郎	森田 荘二郎
腫瘍内科	午前		医師交代	医師交代	医師交代	医師交代
	午後		医師交代	医師交代	医師交代	
ペインクリニック科	午前	青野 寛	青野 寛 穴山 玲子	青野 寛 穴山 玲子	青野 寛 穴山 玲子	青野 寛 穴山 玲子
	午後	青野 寛		青野 寛	〈漢方外来〉 青野 寛	青野 寛
消化器外科・ 一般外科	午前	志摩 泰生 寺石 文則 福井 康雄	西岡 豊 尾崎 和秀	福井 康雄 志摩 泰生	中村 敏夫 岡林 雄大	渋谷 祐一 上月 章史
	午後	志摩 泰生 公文 剣斗	中村 敏夫 徳丸 哲平	尾崎 和秀 藤原 聡史	西岡 豊 岡林 雄大 寺石 文則	住吉 辰郎 森川 達也
乳腺・ 甲状腺外科	午前	高島 大典				高島 大典
	午後	高島 大典		大石 一行		高島 大典
移植外科	午前		渋谷 祐一	渋谷 祐一		

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
循環器内科	午前	尾原 義和 〈不整脈〉 山本 克人	西本 美香 松三 博明	山本 克人 福岡 陽子※11	宮地 剛	細木 信吾
	午後	〈虚血外来〉※2 尾原 義和	〈検診精査〉※2 山本 克人	〈ペースメーカー〉 医師交代 〈検診精査〉※2 山本 克人	宮地 剛 〈検診精査〉※2 山本 克人	細木 信吾※4 〈ペースメーカー〉 医師交代
心臓血管外科	午前	旗 厚	岡部 学 三宅 陽一郎	大上 賢祐	田中 哲文	
	午後		岡部 学			
呼吸器内科	午前	浦田 知之 米田 浩人	浦田 知之	中島 猛 米田 浩人	寺澤 優代	浦田 知之 中島 猛
	午後		中島 猛※4			
呼吸器外科	午前		岡本 卓 張 性洙 中野 貴之		岡本 卓 張 性洙 中野 貴之	
	午後		岡本 卓 中野 貴之		張 性洙	

※2 紹介患者さんのみ ※4 再診のみ ※11 休診

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
血液内科・ 輸血科	午前	上村 由樹 町田 拓哉	今井 利	上村 由樹	今井 利	町田 拓哉
	午後					
代謝・内分泌科	午前	<糖尿病ピットイン> 深田 順一	菅野 尚		深田 順一 菅野 尚	深田 順一
	午後			菅野 尚		
神経内科	午前		丸吉 夏英			奥宮 清人※3
	午後					丸吉 夏英
脳神経外科	午前	医師交代 福田 真紀			福井 直樹	森本 雅徳 岡田 憲二
	午後			松岡 賢樹	福井 直樹	森本 雅徳 岡田 憲二

※3 6月6日、6月20日のみ診察

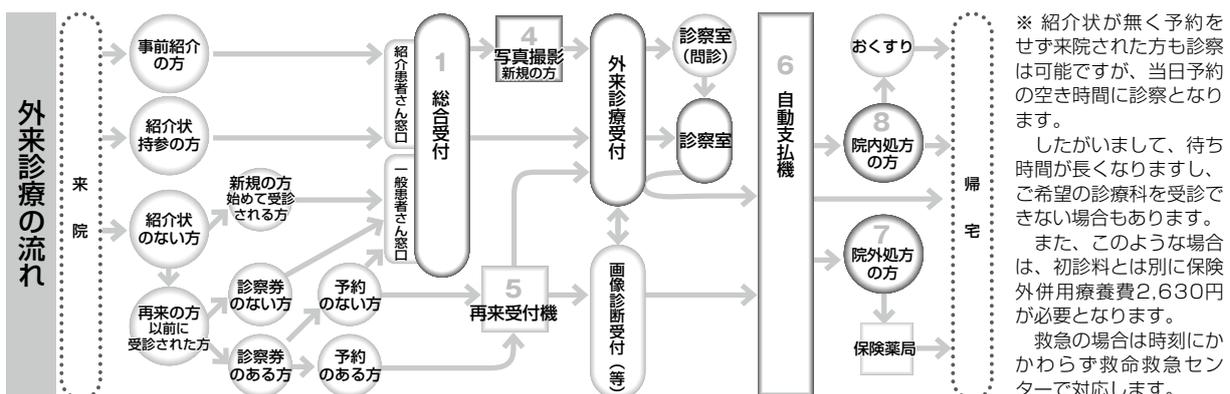
診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
精神科	午前	<児童精神科> 泉本 雄司※4	<児童精神科> 吉岡 知子※4	山下 元司	<児童精神科> 泉本 雄司※4	医師交代※7 <児童精神科> 吉岡 知子※4
	午後	山下 元司※4 <児童精神科> 泉本 雄司※5	<児童精神科> 吉岡 知子	下寺 信次	山下 元司※4 <児童精神科> 泉本 雄司	<児童精神科> 吉岡 知子※5

※4 再診のみ ※5 院内対診のみ ※7 6/6、6/20 山下医師診察、6/13 森信 繁医師診察

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
腎臓内科・ 膠原病科	午前		土山 芳徳		土山 芳徳	井上 淳子
	午後	井上 淳子				
泌尿器科	午前	小野 憲昭 神原 太樹	小野 憲昭 新 良治 神原 太樹		神原 太樹 新 良治 石川 勉	小野 憲昭 新 良治 石川 勉
	午後					

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
整形外科	午前	医師交代※6	時岡 孝光	<骨軟部腫瘍> 沼本 邦彦	林 隆宏 <関節> 福田 昇司 <整形新患外来> 医師交代	沼本 邦彦
	午後		<関節> 福田 昇司	阿部 光信 <脊椎> 時岡 孝光	<骨折> 田村 竜	
形成外科	午前	五石 圭一	原田 浩史	毛山 剛	五石 圭一	原田 浩史
	午後		<唇裂・口蓋裂> 原田 浩史		毛山 剛	原田 浩史
皮膚科	午前	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香
	午後			<光線治療> 高野 浩章		

※6 第1週、第3週、第5週は井上智雄医師。第2週、第4週は大森貴夫医師。



診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
眼科	午前	市川 理恵 大庭 啓介	市川 理恵 大庭 啓介	市川 理恵 大庭 啓介	市川 理恵 大庭 啓介	市川 理恵 大庭 啓介
	午後			<弱視・斜視> 市川 理恵※8		
耳鼻咽喉科	午前	小桜 謙一 土井 彰		田村 耕三 小桜 謙一 福本 晶		田村 耕三 小桜 謙一 土井 彰 福本 晶
	午後					福本 晶
歯科口腔外科	午前	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 清水 基之 <障害者歯科> 福留 麗実	立本 行宏 原 慎吾 板敷 康隆 清水 基之 <障害者歯科> 福留 麗実	立石 善久 原 慎吾 板敷 康隆 嶋本 浩道 <障害者歯科> 福留 麗実	立本 行宏 立石 善久 板敷 康隆 清水 基之 <障害者歯科> 福留 麗実	医師交代 <障害者歯科> 鈴木 康男※10 福留 麗実
	午後	板敷 康隆 立石 善久 原 慎吾 清水 基之 <障害者歯科> 福留 麗実	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 板敷 康隆 <障害者歯科> 福留 麗実	医師交代 <障害者歯科> 福留 麗実 <お口の悩み・口腔腫瘍・ インプラント> 立本 行宏※9	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 清水 基之 三次 正春	医師交代 <障害者歯科> 鈴木 康男※10 福留 麗実

※8 学童の予約のみ受付 ※9 第4週のみ

※10 第3週は休診の時あり

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
婦人科	午前	木下 宏実 牛若 昂志	山本 寄人	林 和俊	木下 宏実※4 南 晋	松本 光弘 山本 寄人
	午後	小松 淳子	<婦人科・リンパ浮腫> 山本 寄人		<女性総合> 木下 宏実	
生殖医療科	午前		南 晋	小松 淳子		
産科	午前	林 和俊 <胎児心臓超音波> 永井 立平	小松 淳子 <ハイリスク> 永井 立平	松本 光弘	永井 立平 <ハイリスク> 林 和俊	木下 宏実 南 晋
	午後	<ハイリスク> 松本 光弘	<胎児心臓超音波> 永井 立平		山本 寄人	牛若 昂志
小児科	午前	吉川 清志 丸山 秀彦 <小児循環器> 三宅 陽一郎	西内 律雄 <小児循環器> 今城 沙都	吉川 清志 中田 裕生	西内 律雄 宮澤 真理 <小児循環器> 今城 沙都	吉川 清志 金澤 亜錦
	午後	宮澤 真理 <血液・腫瘍> 西内 律雄 <小児循環器> 今城 沙都 <予防接種外来> 渡辺 宏和	所谷 知穂 <発達> 金澤 亜錦 <乳児検診> 吉村 恵利子	渡辺 宏和 <内分泌・腎臓> 宮澤 真理 <予防接種外来> 岩崎 由佳	岩崎 由佳 <慢性疾患> 吉川 清志 <小児循環器> 今城 沙都 <発達> 丸山 秀彦 <予防接種外来> 吉村 恵利子	西内 律雄 <小児発達外来> 中田 裕生 渡辺 宏和 <小児神経> 所谷 知穂
小児外科	午前			佐々木 潔		
	午後	佐々木 潔		佐々木 潔		

※4 再診のみ

外来診療時間
午前8時30分から午前12時 午後1時から午後4時30分 (土・日・祝日休診)

原則予約制です。予約外の方は当日来院時に診療予約をおこなってください。 電話での予約は、「かかりつけ医」からの申し込みのみ受け付けています。 問い合わせ先：高知医療センター 高知市池2125-1 TEL:(代)088-837-3000 FAX:(代)088-837-6766

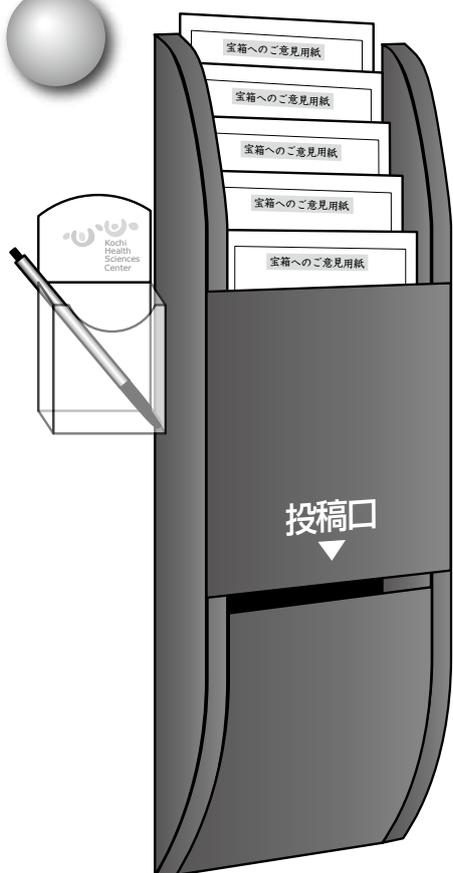
宝箱

～患者さんの声と回答のご紹介～

高知医療センターは、患者さんのご意見は宝物であると考え、各フロアにご意見をいただく宝箱を設置しています。

患者さんに安心、安全、快適に診療を受けていただけるよう、日々、努力は続けておりますので、気がつかれた点は、いいこと、悪いこと、いずれでも結構ですので、できるだけ具体的にお教えてください。

いただきましたご意見やご要望に対しては、職員全員で共有、また真摯に対応させていただき、さらなる医療サービスと医療の質の向上に活かしていきたいと考えています。



患者さんの声

トイレの尿をおくのはわかるけれど、もう少し見る人見られる人のためにボックスに入れるなどできないでしょうか。臭いも気になります。

回答内容

この度はご不快な思いをおかけしました。
ご指摘のように入院環境や個人情報の点からも考えなくてはならないことですので、4人床での蓄尿は中止する方向で対策を検討します。



その後の対応

宝箱のご意見を受け、4床室の病室トイレでの蓄尿は中止としました。蓄尿の必要な患者さんの蓄尿瓶は職員エリアに置くようにしました。また尿量測定用のコップもディスプレイ化し、尿コップ用蓋付きのごみ箱も設置しました。このようにトイレ環境を整えるよう改善に努めていますが、今後もお気づきのことがありましたら引き続きご意見をください。どうぞよろしくお願いいたします。





鷲尾山にて(妻と)



循環器病センター長 山本 克人

私の趣味というコーナーの執筆依頼が届いた時に、果たして自分は多趣味なのかむしろ無趣味なのかどちらなんだろう、って考え込んでしまいました。これまで、たくさんの方にのめりこみ、その時は一途になるけれど、ある程度まで知ってしまうとちょっと飽きて、すぐ他のものに興味を覚えてしまいます。いわゆる浮気性（女性関係じゃないですよ…）の僕なので、なかなか私の趣味というものを一つに絞れませんでした。

そんなこんなで趣味と呼べそうなものをいくつか並べてみました。

1. 登山、トレッキング

以前は、待機以外の休日などにはまず近隣の山に登っていました。恐らく四国中央部（特に高知県内）のガイド本に載っている山についてはほと

んど制覇しました。高知市民病院時代の広報誌にその楽しさなどを文章に綴った記憶もあります。もともと30歳ころ山梨の出張時に富士山を間近にみて、いつかこの山に登るぞと思って始めた登山です。ただ、近頃はだんだん低山登山でも膝関節痛などを覚えるようになり、富士山は無理かなあ、と思い始めています。また、四国内の山だったら泊りがけでも登りたい希望もあるのですが、休日の当直や出張等が多く、これもなかなか難しくなっています。

現在は年に1-2回ある病院内の登山の催し（春の石鎚、秋の剣山系）や、家族での近くへのハイキング登山で楽しんでいます。

それにしても山頂についての食事は本当においしいものですよ。それがたとえカップ麺であっても！



石鎚山頂にて（当院の登山大会）



鷲尾山にて（おいしそうにカップ麺を食べる息子）

2. 宝塚歌劇観劇

これは、現在も結構どっぷりはまっています。時々、劇場にも行きますし、DVDも観ます。また、我が家はCS放送で「宝塚スカイステージ」というチャンネルを契約しており、それで観劇することもできます。毎朝7時前、フジテレビの「めざまし占い」を見た後には、その「宝塚スカイステージ」にチャンネルを合わせます。すると、♪～すみれのは～な～、咲く～ころ～♪という何とも癒される音楽と、阪急電車が横を走る宝塚大劇場の景色が流れてきます。もうこれがないと我が家の朝ではありません。この後、7時から始まる「宝塚ニュース」を5分だけ見て、出勤するのが日課です。

最近、宝塚歌劇のファン（通称ヅカファン）の通になりつつあるかな、と思うことも時にあります。一つはトップスターをあまり追わなくなったこと。脇で泣く演じている方たちが好きで、また将来有望な若手も舞台で探しています。そうしていると、特に轟真の月組などでは端っこのほうにいる出演者まで名前や特徴が分かるようになり、また一つ楽しみが増えています。もう一つは、舞台上で踊られるダンスの良し悪しがだんだんわかってきたことです。もともと私は高校でコーラス部、大学ではバンドでボーカルをしていたため、歌唱力のあるジェンヌさんについてはすぐに注目し、また演技力についてもある程度理解できていました。しかし、ダンスについてはうまいかどうかなどはよくわからず、当初はジェンヌさんたちのダンスは全員同じように見えていました。最近はダンスでの表現力などにも感動するようになり、これでもまた観劇する楽しみが増えたような気がします。まあ、もっとdeepなヅカファンの方から見れば（例えば放射線療法科のH先生のような）、私もまだまだなのかもしれませんが…

3. 日本の城

城巡りは、息子の影響で比較的最近ハマったものです。日本城郭協会という団体が2006年に日本百名城を選定し、そのスタンプラリーが行われています。そのスタンプを集めるために全国各地のお城を少しずつまわっています。現在、ちょうど50個のスタンプが集まりました。何年かかるかわかりませんが、100城全部を制覇したいと思っています。城を巡ると、その城にかかわった名将たち



城巡り（和歌山城にて）



城巡り（彦根城にて）

のロマンが見えてくるようで、わくわくしてきますよ。

4. プロ野球

これは今や自分の中では少し下火です。以前は高知にキャンプに来ていた阪急ブレーブスのファンで、途中中村高校出身の山沖投手が入団し、ますます応援するようになりました。（ちなみに山沖投手の娘さんは現在宝塚歌劇団にて活躍中で、トップスター候補です。）

大学のあった徳島から西宮球場にもよく足を運びました。アニマル対清原なんて漫画みたいな対戦もあり楽しく観戦したことでした。（観客が少なかったもので、いつでもゆったり観られました。）その流れで、オリックスファンにもなり、イチローがいたころは、家に帰るとCS放送で試合終了まで観戦したものでした。ここでも脇役が大好きで、そのころの渋い選手たち、たとえば本西、馬場、小川などが大好きでした。現在は、時々テレビで垣間見る程度となっています。

5. 街散歩

これは、2-3時間くらい時間が空いた休日に行く趣味？です。ウォーキングも兼ねており、堤防などを歩くこともあるのですが、行ったことのない路地裏なんかもどンドン歩いていきます。これが非常に楽しくて、これまで知らなかった新しい建物とか、逆に昔ながらの店（魚屋さんとか八百屋さんなど）を新発見するとウキウキします。もう少し時間がある時は、電車などで後免や伊野まで行って歩き回る、ってことをすることもあります。時にジャージ姿で歩いたりすることもあるのですが、そんな変な感じの男性がいたら僕かもしれません。

6. 鉄道と鉄道旅行

いわゆる‘乗り鉄’という部類の人間です。以前は全国組織の「鉄道友の会」に在籍したこともあります。JR 四国の 2000 系特急「南風」などは、体調によっては酔うこともあり若干苦手なのですが、できれば日本中をいろいろな列車で旅したい、という願望を持っています。ちなみに、列車の時刻だけはいくら便利でもパソコンには頼りたくなく、あの厚～い時刻表で確認しないと落ち着きません。

以上、私の趣味を列挙してみました。

とにかくゆっくり家でボーッとしていることができない性格なので（よくボーッとしているようにみられますが…）、空いた休日などにはとにかく予定を立て、何かしていないと逆に落ち着かず、満足もできません。これが、中途半端に多趣味？になった原因かもしれませんね？

まあ、趣味とはロマンを追い求めることです。ロマンを追い求めていくと決して気持ち的に老いては行かないと考えています。これからはますますロマンに向かって趣味を拡げて発展させていきたい、と考えている今日この頃です。

高 新 文 化 教 室 ◆ 特 別 講 座 ◆ 受 講 生 募 集

高 新 ・ 高 知 医 療 セ ン タ ー 共 催 「がんセミナー」

年間死亡者の 3 割を超える「がん」は、もっとも身近な病気ともいえます。最新の治療法と実績を踏まえ、高知医療センターの各科で活躍する医師を講師に迎え、分かりやすくお話しいただきます。知ることで「がん」に向き合う第一歩を踏み出しましょう。

● 日 時 平成 26 年 4 月 20 日開講（第 3 日曜 10:30～12:00 全 12 回）
※ ただし 7 月は第 2 日曜日になります。

講演内容・講師

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| ■4月20日 「がんと闘うために、がんについてもっとよく知りましょう!」 | 高知医療センターがんセンター長 森田 荘二郎 |
| ■5月18日 「泌尿器のがんについて—前立腺がん、膀胱がん、腎がん—」 | 同泌尿器科主任医長 新 良治 |
| ■6月15日 「抗がん剤の副作用と上手につき合う方法」 | 同薬剤局臨床薬剤部長 宮本 典文 |
| ■7月13日 「乳がんのホルモン療法について」 | 同乳腺・甲状腺外科科長 高島 大典 |
| ■8月17日 「がん治療時に気をつけたい食事と栄養」 | 同栄養局局長 渡邊 慶子 |
| ■9月21日 「食道がんの診断と治療」 | 同移植外科科長 澁谷 祐一 |
| ■10月19日 「小児がんの診断と治療」 | 同小児科小児診療部長 西内 律雄 |
| ■11月16日 「胃がんの現状と内視鏡治療」 | 同消化器内科医長 大西 知子 |
| ■12月21日 「脳腫瘍の治療」 | 同脳神経外科医長 岡田 憲二 |
| ■1月18日 「舌がんについて」 | 同耳鼻咽喉科医長 土井 彰 |
| ■2月15日 「卵巣がんの現状」 | 同婦人科科長 木下 宏実 |
| ■3月15日 「緩和ケア役割とは」 | 同緩和ケア内科科長 原 一平 |

※ 諸事情により講師、演題が変更となる場合があります。ご了承ください。

- 受講料 9,850 円（12 回分）※1 回受講の場合は 1,500 円
- 定 員 40 人（先着順）
- 持 参 品 筆記用具
- 教室場所 高新文化教室（RKC 高知放送南館 3 階 37 号室）
※ ただし 7 月は高知新聞放送会館 8 階 81 号室
- お申込み お問い合わせ
高新文化教室 電話 088-825-4322
高知市本町 3-3-39（RKC 高知放送南館 4 階）
日曜・祝日を除く 9:30～18:30
ホームページ <http://www.kochi-sk.co.jp/bunka>



主催：高知新聞社・高知医療センター 協賛：アフラック高知支社 主管：高知新聞企業

院内行事

●第30回 日本救急医学会中国四国地方会の開催

5月23・24日（金・土）、高知市文化プラザかるぼーにて、第30回日本救急医学会中国四国地方会が開催されました。今学会は、現場の皆さまから特に聴講希望の高かった南海トラフ大地震対策をはじめ病院BCPや医療ICT、救急救命士処置拡大などを中心に第1会場のスケジュールを構成しました。また、第2会場では、過去最高の65演題のポスターセッションが会場を埋め尽くす大盛況の中で無事に執り行われ、会場内では活発な議論をいただきました。参加者数の詳細は、5月23日（金）は、246名、懇親会154名、5月24日（土）は261名、2日間の述べ人員は合計623名（実人員は507名）と、中国四国地方の全県から大勢の方々にご参加いただきました。



行事予定

●第30回 高知医療センター 地域がん診療拠点病院公開講座

高知医療センターは地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、県民の皆さまに最新のがん情報を提供するため公開講座を開催しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日時 平成26年7月5日（土）
14:00～16:30（開場13:30）
- 開場 ゆすはら 夢・未来館 大ホール
- 演題 **肺がん「肺がんについて」**
呼吸器内科 科長 浦田 知之
肝がん「肝胆膵外科治療の最前線」
消化器外科 医長 岡林 雄大
血液がん「知っておきたい三つの血液がん」
総合診療部 部長兼科長 血液内科・輸血科 科長 上村 由樹

※ 事前申し込み不要・入場無料 直接会場までお越しください。

●第10回 総合診療科セミナー

一般の方にもご参加いただけるわかりやすい内容の講演会となっていますので、どなたでも気兼ねなくご参加ください。

- 演題 「出生前診断の現代とこれから
～お腹の赤ちゃんに異常があるという衝撃～」
- 講師 兵庫医科大学 産婦人科 准教授 澤井 英明 先生
- 座長 高知医療センター 総合周産期医療センター長 林 和俊 先生
- 日時 7月30日（水）18:00～19:30
- 開場 高知医療センター2階 くろしおホール

※ 事前申し込み不要・入場無料 直接会場までお越しください。



こころ 第23号

高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター広報誌

〒781-8555
高知市池2125番地1 高知医療センター
TEL 088-837-3000 FAX 088-837-6766

発行 平成26年6月30日
発行者 武田 明雄
題字 佐藤 光峰
編集 高知医療センター広報委員会
(委員長：深田 順一)
印刷 株式会社 高陽堂印刷